



Agri Note 田園

アグリノート米作り情報

(ハナエチゼン・コシヒカリ)

JA福井県

10月に入り、令和6年の米作りも一段落だと思います。今年はカメムシの大量発生や連日の猛暑の影響で品質・収量など心配もありましたが、組合員の皆さんからは、例年並みかそれ以上の声を多く聞いております。**JA福井県では新米集荷運動を展開中です。保有米などを確認し過剰なお米がありましたら、JAへ出荷をお願いします。**また水田での作業として、もうひと踏ん張り。来年の米作りに向けて『秋起こし』を行いましょ。10月には水稲肥料の予約注文が始まります。お得な価格となっておりますのでぜひ注文のほどお願いします。

1. 秋起こし

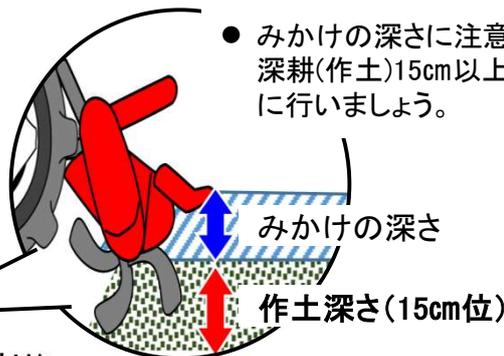
秋起こしをできるだけ早く行い稲わらを分解させて土に戻そう！

<秋起こしのメリット>

①稲わらの腐熟促進

水稲の生育に必要なケイ酸などを土に還元でき、来年の代かきを行いやすくすることができます。土壌有機物の維持にも効果があります。

- みかけの深さに注意して、深耕(作土)15cm以上を目安に行いましょう。



②水稲移植後のガス害対策

秋のうちに稲わらを腐熟することでメタンガスや硫化水素ガスの発生を抑制することができます。ガスの発生を抑制することで、水稲の初期成育不良を防止し、温室効果ガスの排出削減にもつながります。

※オモダカ・クログワイの繁殖の抑制などにも効果的、またニカメイチュウ対策にもなります。



冬季湛水

冬季湛水とは、冬場に水田に水を貯めておく農法のことです。

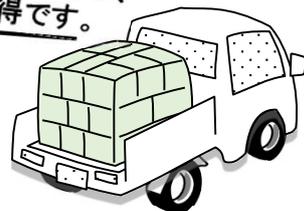
<冬季湛水のメリット> 害虫や雑草の発生を抑制

ニカメイチュウは稲株で越冬を行うため、秋起こしで刈り株を土に埋め、幼虫が休眠する。冬季に水を貯めておくことでニカメイチュウの死滅、一部の雑草の防除につながります。

2. 令和7年度水稲肥料の予約注文

令和7年度の米作りに向けて、10月から水稲肥料の予約注文が始まります。早期の予約注文を行うことは、お得でコストの削減になります。ぜひ予約注文のほどよろしく願いいたします。

予約引き取りなら、さらにお得です。



福井県の環境にあった専用肥料の開発

不安定な海外情勢に備えた
必要数量の確保

高品質

価格変動を見据えた仕入れと交渉

安定供給

JA肥料の特徴

価格抑制